

## 新商品のご案内



日常に凛と寄り添う“生活用品としての工芸“を掲げ開発したテーブルウェアシリーズから、日本の食卓で多用される茶碗・汁椀といった用途の限定されてきた伝統的な器をより汎用的にデザインした BOWL シリーズを販売開始いたします。

人の手によってつくられた温かみ、試行錯誤を重ねて辿り着いた形。  
京文化の根底にある、足るを知り循環的かつ永劫的なものを選び取る心眼。  
自身と社会にとって、真に心地いいものを探し続ける歩みが次の 100 年をつくります。



	磁器	漆器
商品名	BOWL 水 / 霽 (みぞれ)	BOWL 明 / 夜
形	BOTAN / TSUBAKI	TSUKI (椀型) / UMI (筒形)
色	水 (青磁) / 霽 (白結晶)	明 (拭き漆) / 夜 (素黒目漆)
サイズ	Φ140mm 高さ 52mm ・ 容量 245ml	Φ120mm 高さ 65mm ・ 容量 TSUKI 340ml / UMI 380ml
価格	¥5,500 (税込)	¥8,250 (税込)

磁器製の器は縁に BOTAN、TSUBAKI の輪郭をかたどった独創的な形。

「水」は透明感のある青緑色が特徴的な青磁釉。

「雲」は白の中に淡い結晶が現れる結晶釉が特徴です。

### BOTAN

水（青磁）



雲（白結晶）



### TSUBAKI

水（青磁）



雲（白結晶）



京焼・清水焼は茶の湯の道具や、公家や大名への献上品を製作するために、全国から選りすぐりの職人たちが集められ焼き物の地域として発展しました。他とは異なるもの、見たこともない美しいものをつくり出すこだわりは現代に受け継がれ、一点ものや少数多品種を特徴とし、作り手の数だけ多彩な表現があります。

青磁の起源は紀元前 14 世紀。時の中国皇帝が雨過天青雲破処（雨が過ぎ去った後、雲の合間から見える空）のような焼き物をつくれと命じたことによって完成しました。白結晶（結晶釉）は他の釉薬とは比べ物にならない程、焼成中の熱量管理がシビアです。製作する工房では「段」ごとに温度管理を行う焼成窯を開発し、季節による環境変化を計算して窯の調節を行うなど、独自製法を確立しています。

櫨の木地に木目が透けるように漆の塗りを施した漆器。  
漆は、木から採取される天然塗料であり、ウレタン塗料に比べ  
安全に長く使用できることが魅力の一つです。

## TSUKI

明（拭き漆）

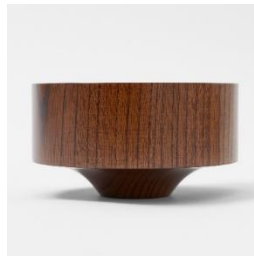


夜（素黒目漆）



## UMI

明（拭き漆）



夜（素黒目漆）



石川県・山中エリアで加工される漆器の木地は、歪みに強い「縦取り」です。これは器を置いたときに原木が上に向かって成長するのと同じ方向になるように作る技法で、歪みや収縮に強い器になります。そして漆による仕上げは、木目の美しさを引き立てると同時に木地を一層強くする効果があります。合成塗料は、塗終えた瞬間から劣化が始まりますが、漆は塗った後、完全に硬化するのに 20 年を要すると言われます。年月を増すごとに、表面の数ミクロンの部分において透明度が増し、塗りたてのときより光沢が出て色目が美しく育っていくのです。

## CONCEPT

漆芸や陶芸、織物や染物などをはじめとする伝統工芸の職人技と聞いて、私たちの多くが思い浮かべるその現在地は、はたしてどんなものでしょうか。

平安遷都以来、貴族や皇族、文化人などからのお誂えに応えるため代々受け継がれてきた日本が世界に誇る最高峰の技術は、どこかで接点がない限り、もしかしたら遠い存在のままかもしれません。

KIWAKOTO は、京都のクラフツマンシップを軸にしたプロダクトを開発するブランドです。きわこと（際殊）は、古語で、「格別であるさま」の意味。職人による手仕事、個性と個性のコラボレーション、用の美を追求したデザイン。ほかにはないこだわりをかたちにして届けるという想いを表現しました。

2022年10月27日より、KIWAKOTO 本店・公式オンラインストアにて販売開始。  
サンプル貸し出しをいたします。お問い合わせください。

公式オンラインストア: <https://kiwakotolifestyle.com/>

Instagram: <https://www.instagram.com/kiwakoto.lifestyle/h>

Facebook: <https://www.facebook.com/KIWAKOTO/>

## KIWAKOTO について

KIWAKOTO は、クラフツマンシップを軸にしたプロダクトを企画開発・製造・販売します。きわこと（際殊）は、古語で「格別であるさま」の意味。職人による手仕事、個性と個性のコラボレーション、用の美を追求したデザイン。ほかにはないこだわりをかたちにして届けるという想いを表現しました。2018年1月創業。

【メディアお問い合わせ先】株式会社 A・STORY 担当：佐藤愛 TEL 075（212）0500 E-mail info@a-story.co.jp